

支援例

NPO法人八王子市民活動協議会 八王子市民活動支援センター

東京都立八王子東高校

1 オリエンテーション

【支援者 八王子市民活動支援センター】

様々な体験学習を通じ地域社会の中の自分を実感できる機会になってほしいと思っています。

2 点字学習(1学期)

【支援者 盲学校、視覚障害者団体等】

- ① 視覚障害者理解についての講演
- ② 点字学習
市の障害者福祉センターと相談しながら、講師等を調整。名刺を点字で作成。

3 施設見学(2学期)

【支援者 視覚障害者福祉施設】

近隣にある視覚障害者総合福祉施設を見学させていただき、点字学習の授業で作成した卓上点字カレンダーを寄贈

4 プレゼントづくり

【支援者 八王子子ども家庭支援センター】

子ども家庭支援センターの親子の広場オープニング記念品として、クリスマスオーナメントを作成し、寄贈。



岡田先生からのコメント



点字学習をどう活かしていくかが前年度からの課題であったが、今年度はコーディネーターを通して、各支援者との関わりを持つことができ、点字学習を充実させることができた。またコーディネーターと相談する中で、点字カレンダー作成のアイデアも形にすることができた。さらに、地域の子供たちへのプレゼント作りという新しい活動も紹介して頂き、生徒達は人に喜んでもらうために知恵を絞ったり工夫する喜びを感じることができた。

支援例

NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク

東京都立富士高校

1 年間計画との関係

学校で作成した年間計画の中で、専門家の指導が必要な3分野について、1学年320人を3つに分けて体験を行う。他に、地域ボラセンターによる夏季体験ボランティアや、特別支援学校の夏まつりなどを体験。

コーディネーターは、授業を主体となって実施する先生方の指導方針や希望をうかがい、それを具現化する役割を担いながら、協働して授業を構成します。社会を間近に控えた高校生にとって、ひとつひとつの体験が、社会に出たときに必ず何らかの役に立ち、人としての巾を大きくしていくに違いありません。支援者の皆さんは、将来、日本を支えていくことになる高校生の皆さんたちに期待し、ご自身の知識や経験や知恵を少しでも多く伝えていこうとしています。高校生がより多くのことを学んで、よき社会人としての基礎を築いていけるように、学校と支援者の幸せな出会いをコーディネートしていきたいと思えます。

1 学年を3つに分けた体験学習

2-1 防災マップづくり学習

【支援者 危機管理専門家】

- ① ガイダンスとフィールドワーク
- ② マップづくり、発表と講評
8つの班に分かれて地域をまわり、good と not good の場所を確認、色分けした地図を作成し、発表する。

2-2 点字学習 【支援者 点字サークル】

- ① ガイダンスと点字の体験
- ② 視覚障害のある方のガイド法
点字のなりたちの話からはじめ、点字器を使って打つ体験、テーブルや食器セットを使ったガイド法も学ぶ。

2-3 手話学習 【支援者 手話サークル】

- ① ガイダンスと手話の基礎
- ② 会話練習とまとめ
複数の指導者が入り、案内の手話を学習。